　私に生け花を教えてくださった先生は常にこうおっしゃいます。「その花の一番美しいところはどこかよく見て、その花が一番輝くように活けてください。」私たちにとっての花とは、今目の前にいる子供一人ひとりです。一人ひとりのよさや可能性をしっかりと見とり、それを価値づける。

　その子のよさを見つけ、引き出すのが私たちの一番の仕事ではないかと思います。子供一人ひとりのよさや可能性をしっかりと見極める「プロとしての感性」を大切にしたい。図工・美術の授業には一人ひとりの輝きがあふれています。

今こそ図工・美術教師の感性を全ての教育活動に!

図工・美術の日によせて

静岡県藤枝市立広幡中学校　道越洋美